

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズステーションあいの(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和6年9月5日		～ 令和6年9月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和6年9月5日		～ 令和6年9月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職(PT・OT・ST)が揃っており、一人一人の特性に合わせた専門性のある療育が実施できる	・振り返りを実施することで、子どもの様子や支援の仕方を話し合う機会や疑問に感じたことを話し合い、専門職と保育士それぞれの視点で意見を出し合う機会を設けている	・児童一人一人の課題に合わせた目標を明確にし、毎月月末に目標に対する評価を行い段階的にステップアップできるような支援を計画し実施していく
2	・児童のその日のコンディションや、活動内容に合わせて室内を仕切るなど臨機応変に環境の設定をに対応できる	・小集団活動や1対1の個別対応と、必要に応じてすぐに環境設定を実施している	・児童がクールダウンできる場所の確保を行う
3	・毎回振り返りを実施し、反省点や課題を出し合い、次回の療育に活かすことができる	・療育内容や、児童の様子を活動記録に記し、全職員が情報共有と共通理解できるようにしている	・振り返りの時間、職員が意見を言い易い雰囲気を作り、より多くの意見を出し合えるようにする ・送迎業務もあるが、療育に入った職員が出来るだけ全員振り返りに参加できるよう調整する

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様が参加できる行事や研修の機会が少ない	・保護者様が参加できる行事や研修を設ける機会が少ない	・開放日を設け、療育を参観できる日を設ける ・SNSだけでなく通信を発行し児童発達支援での様子を伝える
2	・多機能事業所であるため、児童がトイレに行った際、生活介護の利用者の方が入っておりトイレを待たせてしまうことで児童の排泄のタイミングを逃してしまう	・多機能であるため、トイレは生活介護と児童発達で共有している	・児童がトイレに行くことが多い時間帯は、複数あるトイレのうち幼児用の便座が設置してあるトイレを児童が優先的に入れるよう生活介護に協力依頼をする
3	・職員のスキルアップの為の研修の機会が少ない	・これまでに専門機関を招いての研修実績もあるが、その機会が少ない	・現在実施されている法人内での研修に加え、児童発達支援における専門的な研修の機会を増やす

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズステーションあいの (児童発達支援)

公表日 令和6年 11月 16日

利用児童数

6名

回収数

5名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になって いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になって いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっている と思いますか。	5	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられている と思いますか。	5	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所 の提供する支援内容と合っている と思いますか。	5	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的に分析された上で、 児童発達支援計画(個別支援計画)が作成 されている と思いますか。	5	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイド ラインの「児童発達支援の提供すべき支援」 の「本人支援」、「家族支援」、「移行 支援」で示す支援内容からこどもの支援に 必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されている と思いますか。	5	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われて いる と思いますか。	5	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されな いよう工夫されている と思いますか。	5	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との 交流や、その他地域で他のこどもと活動 する機会がありますか。	3	0	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援 プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明がありましたか。	5	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支 援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング等)や 家族等も参加できる研修会や情報提供の 機会等が行われていますか。	3	1	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え 合い、こどもの健康や発達の状況につい て共通理解ができていますか。	5	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言 等の支援が行われていますか。	5	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされ ている と思いますか。	5	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等 の開催等により、保護者同士の交流の機 会が設けられるなど、家族への支援が されているか。また、きょうだい向け のイベントの開催等により、きょうだい 同士の交流の機会が設けられるなど、 きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	0	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズステーションあいの (児童発達支援)				公表日	令和6年 11月 16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・1対1以上になるよう配慮してある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・サーキット、机上等の支援に応じて部屋をカーテンで仕切る、棚や壁に布をかける等工夫がなされている	・トイレなどの使用の際、時に不便さを感じる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・アコーディオンカーテンを開めることで「静」と「動」の空間作りを行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・個室がないため、パーテーションやアコーディオンカーテン、カウンターなどで仕切っている	・1部屋を仕切り活動するが、声が聞こえるので完全に集中できる環境とは言えない ・3組以上に分かれて活動するのが難しい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		・児童の送迎もあり、どうしても行えない時もある。全員参加はできていない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		・改善する点があるのか把握が充分でない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・フィードバックやノートなどを活用できていると思う	・昼礼の際に報告することがあるが、会議等話し合いの時間を設けて欲しい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	・研修委員会が設けられ企画・開催がなされている。県の機関を招いての研修もあり ・研修会ではないが、気づいた点を尋ねて適切な支援につなげられるようにしている	・児発についての法人内研修は行っていない	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		・公表については実施していかなければいけない点であると思います	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		・職員全員で話し合う機会は少ないと思う ・記録や個人の意見などを参考にしているの ・だろうがわからないところもある	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		・支援を行うための打ち合わせをする時間が欲しい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・活動記録などで確認している ・専門職を交えて話し合い対応を決め行っている	・フォーマルなアセスメントは確認できていない	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	・曜日で担当があり、サーキット、絵本、言語、机上などそれぞれで考えることが多く、振り返りで確認している	・会議や話し合う場が設けられていない	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・毎回難しいが少し変化をつけるよう配慮している ・以前より少し変化をつけて設定している	・個人で工夫していることはあると思うが、職員で共有できていない	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・支援内容は個々の状況を考慮して行っている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・打ち合わせの時間はないがサーキットの内容や活動は口答で伝えることはしている	・事前の打ち合わせが十分にできていない ・送迎に出る職員もいるため、打ち合わせは出来ずバタバタしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・送迎などで振り返りに参加できなかった時は記録を見たり、聞くことで共有するように心がけている	・送迎や配膳係で振り返りができていない時もある。支援職員全員ではできていない	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		・支援を行っている職員が参加することはない	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・検査結果などの開示はあり確認している。保育園などの様子を記入する欄が連絡帳にはある		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					・自分自身があまり把握できていない
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・送迎時に先生方と話す程度でそれ以外での交流は特はない		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		・連絡帳で伝えることが多く、どちらともいえないかもしれない		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		・親御さんたちと一緒に参加できる行事などはあるものの、研修などは特はない		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・家族での困り感があった時に早急にモニタリングがおこなえ、緩和したことがあった	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	・父母の会・保護者会はないが、交流の場はある ・親子で参加できる行事は提供している	・保護者が参加できる行事の計画を増やしていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・利用日の変更・追加はできている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・「くまのご通信」「広報誌」の発行及び「SNS」で発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・運動会への招待を行っている	・地域との交流が少ない、機会がないと感じる
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		・該当する児童が今はいない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・職員が常に確認できる場所に管理されており、共有できている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・事業所内で行われる県虐待防止伝達研修に参加し、適切な対応を心掛けている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		・身体拘束の対象となる児童がいない	